

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

- ☆最初のISS構成要素打上げから2552日経過しました
- ☆第12次長期滞在クルーのISS滞在は44日経過しました
- ☆ISS動向

11月13日には、第12次長期滞在クルーのウィリアム・マッカーサーとバレリー・トカレフ両宇宙飛行士は、特別なウェイクアップコールで目覚めました。それは、コンサート中のポール・マッカートニーからの生中継によるものでした。ポール・マッカートニーは、コンサートの途中で、“Good Day Sunshine”と“English Tea”の2曲をふたりのために歌いました。



長期滞在クルーに賛辞を呈するポール・マッカートニー

ウェイクアップコールは、NASAの伝統でスペースシャトルミッションではクルーは地上から送られる様々な音楽で目覚めますが、ISSでは行われていません。スペースシャトル・ディスカバリー号(STS-114)ミッションの帰還日に着陸地の天候が回復するようにと願って、ビートルズの“Good Day Sunshine”が流されたことがきっかけとなって、ライブコンサートの宇宙生中継が実現しました。ライブコンサートが宇宙へ生中継されたのは初めてのことで

す。11月8日に、ふたりは米国製宇宙服を使用して船外活動を行いました。12月7日には、ロシア製宇宙服を使用して船外活動を行う予定です。

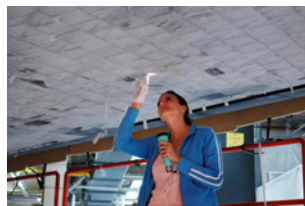
なお、11月10日にISSにドッキングしているプログレス補給船(19P)のスラスタを噴射して軌道高度上昇が行われました。現在ISSは、高度約352kmのほぼ円軌道を周回しています。

“スペースシャトル最新状況”

3機のスペースシャトル・オービタはNASAケネディ宇宙センター(KSC)のオービタ整備施設(OPF)にてそれぞれ整備が行われています。

【ディスカバリー号、次回打上げミッションSTS-121】

2006年5月以降の打上げを目指して作業が続けられています。フライトデッキの窓2箇所の検査が行われました。



耐熱タイルの点検
(ディスカバリー号)



新たに装着したタイヤの点検
(ディスカバリー号)

【アトランティス号、次回打上げミッションSTS-115】

配線検査、姿勢制御噴射口駆動部の摩擦保護作業、機体前方と中央部の耐熱タイル間の詰め物の検査が続けられています。

ロボットアームはディスカバリー号用に取り外されました。



無塵衣を着て作業する技術者
(アトランティス号)



ロボットアームの取り外し
(アトランティス号)

【エンデバー号】

ほぼ2年間にわたる改修期間の後、船内外のアクチュエータの取り付けおよび点検が終了しました。船体中央の塗装準備、機首部のノーズキャップ部で熱防護システムに関する作業を実施中です。

“インフォメーション”

2005年10月28日に、筑波宇宙センター(TKSC)の宇宙ステーション運用棟とNASAジョンソン宇宙センター(JSC)を結んで実運用を模擬した、「きぼう」日本実験棟運用シミュレーション訓練を行いました。その内容をホームページで紹介しています。JAXA側、NASA側双方の訓練の様子を伝える写真も多く掲載しておりますので、ご覧下さい。

●「きぼう」日本実験棟運用シミュレーション訓練

http://iss.sfo.jaxa.jp/iss/kibo/develop_status_46.html

●「きぼう」日本実験棟最新情報

http://iss.sfo.jaxa.jp/iss/kibo/develop_status.html



問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/>

Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。